



学校だより

2月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和8年1月30日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

大切な「心のキャッチボール」～ほうれんそう～

校長 保科 桂子

まだまだ寒い日が続いています。それでも、校庭の梅のつぼみが少しずつふくらみ始め、春の足音が聞こえてくるようです。早いもので今年度も残すところあと2か月となりました。6年生の担任が、「6年生がリードしてがんばる学校行事はほとんど終わったので、あとは日頃の行動で示していくことが大切、と指導していく」と話していましたが、6年生は卒業に向けて準備を、1～5年生は次の学年へのステップアップを見据えて、一日一日を大切に過ごしています。

1月初めの朝会では、1月7日にちなんだ七草の話をした後に、子どもたちがスムーズに学校生活を送り、周囲と協力するために大切にしてほしいと思い、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」についてお話ししました。

「ほう」報告は、「宿題終わったよ」「そうじをしたよ」と終わったことを伝えることで周りが安心できます。

「れん」連絡は、「明日の予定」「明日の持ち物」などを伝えることで、周りが準備できて、スムーズに動けるようになります。

「そう」相談は、「やり方がわからない」「友達とケンカしちゃった」「なんだか元気が出ない」など、一人で抱え込まずに「教えて」「手伝って」と助けを求めることです。相談することは、恥ずかしいことではなく、「もっと良くしたい!」という前向きな気持ちの証拠だと伝えました。

報連相は、大人の世界でもよく使われる言葉ですが、子どもたちにとっても「自分の状況を相手に伝える力」は、これから自立していく上で欠かせない一生モノのスキルです。藤の木小学校の「育てたい資質能力」は「コミュニケーション能力」ですが、子どもだけでなく大人にも大切な資質能力かもしれません。「報告・連絡・相談」はコミュニケーションの基本と言えるでしょう。

子どもたちには、この「ほうれんそう」ができるようになると、周りの人は皆さんをもっと信頼してくれて、困りごとは半分になり、嬉しいことは2倍になること、学校やおうちで大切にしてほしいことを伝えました。

ご家庭でも、お子さんが「あのね、今日学校でね…」と話してきたときは、ぜひ「お・ひ・た・し」で応えてあげてください。

お：怒らない(まずは最後まで聞く)

ひ：否定しない(「それはだめだよ」の前に「そう思ったんだね」)

た：助ける(困っていたら一緒に考える)

し：支援する(具体的な解決策をアドバイスする)

お子さんが安心して「ほうれんそう」ができる環境が、自信と安心感を育みます。